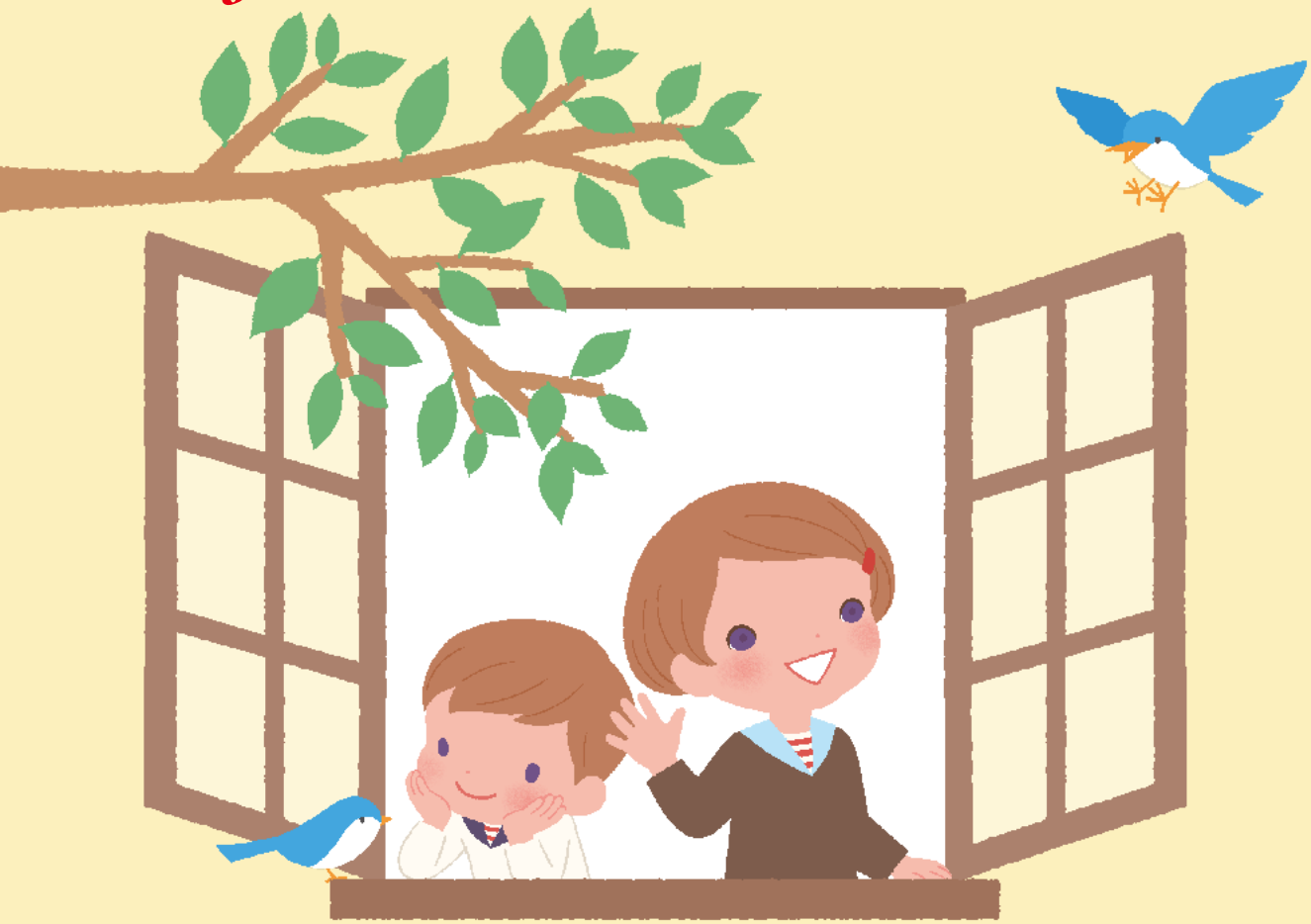
morinaga



サステナビリティデータブック 2021

2021年3月期

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

本PDFのご利用方法
← 左のナビゲーションをクリックすることで、該当のページに移動することができます

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方 3
編集方針 5
会社情報 6
コーポレートミッション 9
新型コロナウイルス感染症への対応と影響 10
森永乳業のサステナビリティ 13
7つの重要取組課題 17

●健康・栄養
基本的な考え方 27
体制 27
KPI 27
健康寿命延伸への寄与 28
乳幼児の健やかな成長への貢献 30
公衆衛生の向上 34
森永乳業の栄養機能性素材 35

●環境
基本的な考え方 37
体制 37
KPI 38
環境リスクの認識 39
環境法規制の遵守 39
グループ全体への環境活動の拡大 39
環境マネジメントを推進する仕組み 40
環境負荷の全体像 41
気候変動 42
資源循環 45
水資源 48
環境配慮型容器包装の使用促進 50
生物多様性 51

●人権
基本的な考え方 52
体制 52
ステークホルダー・エンゲージメント 52
KPI 53
人権方針の浸透 53
サプライヤー 54
外国人従業員に対する雇用調査 55
ダイバーシティ＆インクルージョン 55
働き方改革 58
公平公正な雇用 59
労使の対話 59
生産部門における労働安全衛生の推進 60

●供給
基本的な考え方 63
体制 63
KPI 64
原材料リスクに応じた効率的な
サプライヤーマネジメント 64
安全かつ高品質な商品提供のための
体制づくり 66
主要原材料の供給リスク対応 68
お客さまへの対応 71
非常時の供給体制の確立 74

●次世代育成
基本的な考え方 76
体制 76
KPI 76
森永乳業の次世代育成活動 77
次世代育成の環境を整える 79
オンラインでの取り組み 80

●人財育成
基本的な考え方 82
体制 82
KPI 83
事業を支える人財を育成するための制度 84
健康経営の実践 87

●コーポレート・ガバナンス
コーポレート・ガバナンス 89
コンプライアンス 90
情報セキュリティ 92

方針等 94
第三者保証 101
国連グローバル・コンパクト対照表 102
GRIスタンダード対照表 103

〈目次〉

› サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス

方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

サステナビリティに関する情報開示の考え方

基本的な考え方

森永乳業グループは10年先を見据えた「森永乳業グループ10年ビジョン」を2019年に制定し、「『食のおいしさ・楽しさ』と『健康・栄養』を両立した企業へ」「世界で独自の存在感を発揮できるグローバル企業へ」「サステナブルな社会の実現に貢献し続ける企業へ」を当社グループのありたい姿と定めました。この考えのもと、2022年3月期までの中期経営計画における3つの基本方針のひとつに「経営理念実現に向けたESGを重視した経営の実践」を掲げ、7つの重要取組課題を策定しKPIを設定しました。

森永乳業グループは、これまで「CSRは事業活動そのもの」という考えのもと事業を推進してまいりましたが、今後は「サステナブルな社会の実現」に貢献し続けるよう事業活動を推進していきます。その中でもステークホルダーである、お客さま・お取引先・地域社会・株主投資家の皆さま、従業員とのコミュニケーションは、世の中の変化を知り、社会に対して森永乳業がどのような価値を提供していけるかの、道しるべとして重要だと考えています。

コミュニケーションの方法として、統合報告書ならびにサステナビリティデータブック、ウェブサイトを通じて、森永乳業の財務・非財務情報の開示を行っています。情報開示を基に、ステークホルダーの皆さまとの継続的な対話・評価を行い、当社の事業活動に活かしていきます。

開示の形式

統合報告書

株主・投資家向けに、2019年度より統合報告書を発行しています。
企業価値の向上と持続的な成長に向けた当社グループの考え方・取り組みを紹介しています。



WEB ▶ https://www.morinagamilk.co.jp/ir/library/annual.html

サステナビリティデータブック（本データブック）

調査機関向けに、2018年度よりサステナビリティレポートおよびデータブックの内容を、GRIスタンダードに沿った内容にしています。
主に、環境・社会・ガバナンスの取り組み、KPIを中心に開示します。



ウェブサイト

森永乳業では、財務情報を「IR情報」、非財務情報（環境・社会・ガバナンス）を「森永乳業のサステナビリティ」にて公開しています。ウェブの特性を活かして、随時最新の情報に更新し、ステークホルダーの皆さまが必要とし、満足していただける情報提供に努めています。



WEB ▶ https://www.morinagamilk.co.jp/

〈目次〉

› サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス

方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

参考としたガイドライン

以下のガイドラインを参考にサステナビリティの取り組みを含む統合的な情報開示を行っています。

・国際統合報告フレームワーク
・価値協創ガイダンス
・SASBスタンダード
・GRIスタンダード
・国連グローバル・コンパクト COP (Communication on Progress)方針
・ISO26000

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

編集方針

森永乳業では「環境報告書」の発行を2000年に開始し、2008年からは「CSR報告書」、2017年からは持続可能な社会の実現に向けて「サステナビリティレポート」として発行してきました。
2019年よりウェブ上のデータの公開のみとし、GRIスタンダードを参照して、グローバルな視点から求められる情報開示を行うとともに、「サステナビリティデータブック」と改題しました。

報告対象範囲

森永乳業株式会社および国内連結子会社26社※により構成された森永乳業グループを主な報告対象組織とし、一部に海外現地法人・合弁会社の活動を報告しています。
「森永乳業グループ」と記載している場合は、主に国内の森永乳業グループを対象としており、「森永乳業」と記載している場合は、森永乳業単体を対象としています。
※東洋醗酵乳株式会社は2020年5月に解散しており、報告には含まれておりません

報告期間

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）の活動を中心に、一部に過去の経緯や発行時期までに行った活動、将来の見通し・予定などについて記載しています。報告書中の各種グラフ・表は原則として、年度（4月1日～翌年3月31日）単位で集計した数値を掲載しています。

参照ガイドライン

この報告書は、GRIスタンダードを参照して作成しています。詳細については「GRIスタンダード対照表」（→ P.103）をご参照ください。

発行日

2021年9月
年1回発行

発行部署および連絡先

森永乳業株式会社 サステナビリティ本部サステナビリティ推進部
〒108-8384　東京都港区芝5-33-1
TEL：03-3798-0129
FAX：03-5442-3691

第三者保証

2020年度のエネルギー使用量、二酸化炭素（CO_2）排出量に関しては、第三者保証を受審しています。
詳細については「第三者保証」（→ P.101）をご参照ください。

免責事項

過去と現在の事実だけでなく、公開日時点における計画や見通し、経営方針・経営戦略に基づいた将来予測が含まれています。諸与件の変化によって、業績などの将来の事業活動の結果や事象が予測とは異なったものとなる可能性があります。また、過去の報告書で提供した情報を修正・再記述する場合や、重要な変更がある場合は、その内容を本データブックに記載します。読者の皆さまには以上のことをご了解いただきますようお願いいたします。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
> 会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

会社情報

会社概要

会社名　：森永乳業株式会社
（MORINAGA MILK INDUSTRY CO.,LTD.）
本社所在地　：〒108-8384　東京都港区芝五丁目33番1号
代表者　：代表取締役会長　宮原 道夫
代表取締役社長　大貫 陽一
代表取締役副社長　大川 禎一郎
創業　：1917年（大正6年）9月1日
設立　：1949年（昭和24年）4月13日
資本金　：21,787百万円（2021年3月31日現在）
従業員数（単体）：3,377名（2021年3月31日現在）
（連結）：6,871名（2021年3月31日現在）
事業内容　：牛乳、乳製品、アイスクリーム、飲料、その他の食品などの製造・販売 他
URL　：https://www.morinagamilk.co.jp/
事業所（2021年3月31日現在）：
工場・市乳センター 14か所（佐呂間工場、別海工場、盛岡工場、福島工場、利根工場、東京工場※、東京多摩工場・大和工場・東日本市乳センター、松本工場、富士工場、中京工場、神戸工場・西日本市乳センター）
支社・支店・商品センター・管理センター 6か所（東北支店、首都圏支社、管理センター、商品センター、中部支社、西日本支社）
研究・情報センター 1か所（神奈川県座間市）

※2021年3月31日に生産終了

国内連結子会社

森永乳業販売株式会社
株式会社ナポリアイスクリーム
森永乳業北海道株式会社
エムケーチーズ株式会社
株式会社フリジポート
森永酪農販売株式会社
株式会社トーワテクノ
株式会社森永乳業ビジネスサービス
エム・エム・プロパティ・ファンディング株式会社
十勝浦幌森永乳業株式会社
東北森永乳業株式会社
横浜森永乳業株式会社
森永北陸乳業株式会社
熊本森永乳業株式会社
株式会社クリニコ
株式会社東京デーリー
森永乳業九州株式会社
株式会社シェフォーレ
株式会社森乳サンワールド
森永エンジニアリング株式会社
株式会社サンフコ
北海道保証牛乳株式会社
日本製乳株式会社
冨士森永乳業株式会社
東洋醗酵乳株式会社※
広島森永乳業株式会社
沖縄森永乳業株式会社

※2020年5月末解散。清算手続き中

主な海外現地法人・合弁会社

Morinaga Nutritional Foods, Inc.
MILEI GmbH
Morinaga Milk Industry（Shanghai）Co., Ltd.
Elovi Vietnam Joint Stock Company※
Morinaga Nutritional Foods（Asia Pacific）Pte. Ltd.
PT. Kalbe Morinaga Indonesia

※2021年3月末に連結子会社化

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

商品カテゴリー

牛乳類
「森永のおいしい牛乳」「まきばの空」など



飲料
チルドカップコーヒー「マウントレーニア　カフェラッテ」やチルド紅茶「リプトン」など



ヨーグルト
「ビヒダスプレーンヨーグルト」「ラクトフェリンヨーグルト」「トリプルヨーグルト」など



デザート
「森永の焼プリン」「森永牛乳プリン」など



業務用商品
業務用のクリーム、チーズ、バター、冷菓、粉乳、ビフィズス菌、乳酸菌、乳たんぱくなど



アイスクリーム
「ピノ」「MOW（モウ）」「PARM（パルム）」など



クリープ・れん乳・その他食品
「クリープ」「森永ミルク・加糖れん乳」など



チーズ・バター
「クラフト スライスチーズ」「森永北海道バター」など



育児用食品
育児用ミルク「はぐくみ」「チルミル」、特殊ミルク「ニューMA-1」、幼児用食品「やさいジュレ」など



海外用商品
世界中でさまざまな商品を供給しています。





ヘルスケア・健康食品
大人のための粉ミルク「ミルク生活」、ビフィズス菌を配合したサプリメントなど



流動食・介護食
流動食・嚥下食・栄養補助食品など（株式会社クリニコ）



宅配サービス
「森永カルダス」「腸活ミルク」「森永絹ごしとうふ」など



衛生管理用装置
工場や店舗など食品を扱う場所を高い衛生レベルに保つ微酸性電解水生成装置です。



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
> 会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

提携ブランド

Kraft

1970 年にチーズおよびチーズ関連商品で技術提携。

KraftはKraft Foodsの商標です。

Lipton

1984年に業務提携。

チルド紅茶飲料などの商品を販売。

リプトンはユニリーバの商標です。

Sunkist

1971年に商標使用許諾契約を締結。

果汁飲料などの商品を販売。

サンキストはSunkist Growers,Inc., U.S.A.の登録商標です。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

コーポレートミッション

コーポレートスローガン

かがやく“笑顔”のために

コーポレートスローガンに込めた想い

私たち森永乳業グループがお客さまにお届けしたい価値である「健康と幸せ」の結果として、社会に提供していきたいものを“笑顔”という言葉で表現しました。
「日々の生活や、家族や仲間との団らんを通じて、内面から自然とあふれてくる“笑顔”を生み出していきたい」
そんな私たちの想いをかがやく“笑顔”のためにという言葉に込めました。

経営理念

乳で培った技術を活かし
私たちならではの商品をお届けすることで
健康で幸せな生活に貢献し豊かな社会をつくる

経営理念に込めた想い

お客さまのかがやく“笑顔”のために、私たちは創業から培ってきた力を活かし、商品としての「乳」だけにこだわらず、独自性のある様々な商品やサービスをお届けしてまいります。
それにより、心とからだの両面からお客さまの健康を支え、幸せな生活に貢献することで、笑顔あふれる豊かな社会をつくります。

行動指針

私たちの8つの問いかけ

1. **お客さまに寄り添い 感動を共有できていますか**
2. **感謝の気持ちを持っていますか 伝えていますか**
3. **全ての品質に自信が持てますか**
4. **本物の安全・安心を追い続けていますか**
5. **常に挑戦し続けていますか**
6. **「チーム森永」の輪 築いていますか**
7. **今 自分も仲間も活き活きしていますか**
8. **夢を語り合い 未来へ一歩踏み出していますか**

行動指針の役割

コーポレートスローガンと経営理念を実現するために、森永乳業グループに所属する一人ひとりが行動において心がけるべき指針を策定しました。

森永乳業グループの各種方針

REPORT 人権方針（▶P.95）/ 安全衛生基本方針（▶P.60）/ 環境方針（▶P.95）/ 調達方針（▶P.96）/ 品質方針（▶P.96）/ 腐敗防止方針（▶P.100）/ 母乳代替品（BMS）マーケティングポリシー（▶P.94）

WEB ▶https://www.morinagamilk.co.jp/corporate/vision/

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス

方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業グループでは新型コロナウイルス感染症の発生以降、感染拡大を防止するため、さまざまな対応を行っています。

支援活動

国内での取り組み

森永乳業グループでは、医療従事者の皆さまや、自社の従業員に向けた支援を実施しました。

株式会社クリニコでは、医療施設へマスクやフェイスシールドを寄付する企画（参加企業43社）に賛同。マスク200万枚を15,500施設へ、フェイスシールド58,000セットを2,600施設へ提供しました。また、従業員の健康に配慮し、株式会社シェフォーレでは「カラダ強くするのむヨーグルト」を従業員に無償提供しました。

森永乳業は2021年3月、新型コロナウイルス感染症拡大防止に尽力されている全国の医療機関および医療従事者の皆さまへの支援にお役立ていただくため、特定非営利活動法人ジャパンハート（以下ジャパンハート※）に1千万円を寄付しました。

また、森永乳業は2020年10月から2021年3月にかけて、企画趣旨に賛同いただいた得意先チェーンストアの皆さまとともに、森永乳業商品を購入いただいた売り上げの一部を寄付する「つながるエールプロジェクト」を首都圏支社従業員の発案で展開しました。関東甲信越エリアを中心に29のチェーンストアの皆さまにご賛同いただき、2021年5月に特定非営利活動法人ジャパンハートに12,127,083円を寄付しました。また、北陸支店でも得意先とともに、森永乳業商品を購入いただいた売り上げの一部を寄付する「おいしいでつながるエールプロジェクト」を実施し、得意先を通じて石川県と富山県に合わせて810,636円を寄付しました。

※ジャパンハートでは、医療崩壊を防ぐための医療チーム派遣や、感染拡大防止のための現場指導（国内介護福祉やアジア途上国）、医療物資等の無償提供などの活動を行っています。

各種支援の例

組織	対象	内容
森永乳業首都圏支社	子どもが生まれたばかりのご家族	病院での栄養士の調乳指導ができない施設が多いため、退院後にオンラインで調乳指導の機会を提供。
森永乳業西日本支社	病院	「カラダ強くするのむヨーグルト」の提供
株式会社クリニコ	全国の医療施設	医療施設へマスクやフェイスシールドを寄付する企画（参加企業43社）に賛同 ・マスク　200万枚を15,500施設へ ・フェイスシールド58,000セットを2,600施設へ
森永乳業北海道株式会社	北海道内の医療従事者など	商品の無償提供 「保証はぐくみ牛乳200ml」：合計4回31,760個 「カラダ強くするのむヨーグルト」：1,700個 ロングライフ牛乳：1,200個 「牛乳プリン」：2,500個
株式会社シェフォーレ	従業員	「カラダ強くするのむヨーグルト」約20,000本の提供
株式会社サンフコ	研究開発担当者	新型コロナウイルスに関する海外の状況について情報提供
広島森永乳業株式会社	広島市	N95マスク 1,180枚の提供
沖縄森永乳業株式会社	那覇市医師会	N95マスク 480枚の提供

海外拠点での取り組み

ドイツのMILEI（以下ミライ社）では、コロナ禍において苦しい状況にある地元の方々への支援に取り組んでいます。

2020年には、地域の老人福祉施設を訪問し、特に行動を制限せざるを得ない高齢者に向けて、食事の提供や屋内の装飾を行い、明るくコミュニケーションを図れる機会を提供しました。

また、地域の低所得者向けに食料品を配布している慈善団体へ、新たに購入した食料品を寄贈しました。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

事業活動における感染拡大防止

安全・安心な商品製造のための製造現場での取り組み

新型コロナウイルス発生前から製造時にはマスクを着用し、徹底した衛生管理を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大防止という観点からも、マスク着用・手洗いの徹底、製造現場やドアノブなど共用部の清拭・消毒、従業員更衣室の入室人数制限・換気強化や入室前後の手洗い・消毒の実施など、厳格な管理のもとで製造をしています。

REPORT ▶「生産部門における労働安全衛生の推進」P.60-62参照、
▶「安全かつ高品質な商品提供のための体制づくり」P.66-67参照

取引先との取り組み

これまで対面で行っていた会議や監査、セミナーをオンラインに変更しました。また物流においては、荷主として新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組むため、協力会社に感染予防策の徹底を依頼するとともに、注意喚起のメールを定期的に発信しました。

REPORT ▶「原材料リスクに応じた効率的なサプライヤーマネジメント」P.64-66参照

従業員の安全確保

業務の特性上、テレワーク化が難しい業務を除いて、原則として在宅勤務可能としました。

ダイバーシティ＆インクルージョンの目標値である「在宅勤務・サテライト勤務制度の利用者数を2027年に1,000名」を大きく達成する約1,980名が在宅勤務を行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるとともに、時間資源の有効活用による業務生産性の向上および仕事と私生活の両立にもつなげることができました。

出社が必要な職場では、ソーシャルディスタンスを確保するため、執務室の分散や飛沫拡散防止のためパーテーションの設置を行いました。

また、健康経営の一環として森永乳業グループ事業所の従業員へ、腸内環境を良好にし、腸の調子を整える「ビフィズス菌BB536」や「ラクトフェリンオリジナル」のサプリメントを配布し、体調管理をサポートしました。

REPORT ▶「柔軟な働き方を推進する制度」P.58参照

コミュニケーション

株主総会

株主および運営に携わる当社関係者の安全を第一に、さまざまな対応を行いました。

・来場抑制：議決権の事前行使・インターネット行使依頼
・感染防止：マスク着用の呼びかけ、座席間隔を空ける、消毒液の設置、受付に遮蔽板の設置、来場者の検温、第2会場を設定して席を分散し総会の配信、飲み物の提供中止
・時間短縮：議長シナリオの短縮化（重要な事項に絞って説明）、質問数を1人1問に制限

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

次世代育成活動

2020年2月より工場見学、企業訪問、出前授業の受け入れを中止。その後、オンライン開催として順次、再開しました。
その他の次世代育成プログラムも、オンラインで開催しました。
オンライン化した活動：森と食の探検隊オンライン座談会、オンライン出前授業（小学校）、オンライン企業訪問（中学校、高校生、高専生）、企業インターンワーク、ツアーオブバレーボール×オンラインバレーボール教室、エンゼル110番オンライン座談会

REPORT ▶「オンラインでの取り組み」P.80参照

シンポジウムや展示会を通じた技術情報の発信

多くの学会発表が中止や延期となりましたが、ウェビナーやバーチャル展示会、SNSを活用した情報発信に取り組んでいます。

REPORT ▶「シンポジウムや展示会」P.30参照

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
› 方針・考え方
› 体制
ステークホルダーとコミュニケーション
外部イニシアティブ・団体への参加
社外からの評価・表彰
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

森永乳業のサステナビリティ

方針・考え方

サステナビリティの考え方

森永乳業グループは10年先を見据えた「森永乳業グループ10年ビジョン」を2019年に制定し、「『食のおいしさ・楽しさ』と『健康・栄養』を両立した企業へ」「世界で独自の存在感を発揮できるグローバル企業へ」「サステナブルな社会の実現に貢献し続ける企業へ」を当社グループのありたい姿と定めました。この考えのもと、2022年3月期までの中期経営計画における3つの基本方針のひとつに「経営理念実現に向けたESGを重視した経営の実践」を掲げ、自社の商品・サービス、活動を通じて社会課題を解決し、社会とともに持続的に成長することを目指すため7つの重要取組課題を策定しKPIを設定しました。森永乳業グループでは、7つの重要取組課題に取り組むことで、「笑顔あふれる豊かな社会づくり」に貢献していきます。

体制

サステナビリティ推進体制

森永乳業は、社長を委員長とするサステナビリティ委員会のもと、グループ全体でサステナビリティ経営を推進しています。2021年には、より加速度的にサステナビリティ経営を推進するため、CSR推進部をサステナビリティ推進部に改称、社長直轄本部として新設したサステナビリティ本部の傘下に位置付けることにより、サステナブルな社会実現のためにスピードを上げて取り組む体制を構築しています。
サステナビリティ委員会は、取締役会の機能を補強するための特別委員会組織として設置され、社会とともに持続的に成長することを目指すため策定した7つの重要取組課題に対し、対応、進捗、確認を含む議論をしています。

「部門名称改称の想い」
2021年6月1日より、CSR推進部はサステナビリティ推進部に改称し、あわせて新設する社長直轄のサステナビリティ本部の中核組織の一つとして新たなスタートを切りました。
近年SDGs達成に向けた取り組み、特に気候変動などの社会課題解決に向けた取り組みは、企業の持続的な発展に欠くことのできないテーマとなっています。そのキーワードは「サステナビリティ」です。
サステナビリティ推進部は、部門名称の改称を機に、これまでの取り組みステージを一段上げ、森永乳業のサステナビリティ活動を加速させるとともに、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

サステナビリティ委員会
社長を委員長とし、役員および全本部長を委員として構成し、事務局はサステナビリティ推進部が務めています。定例委員会は原則として半年に1回開催しています。

サステナビリティ推進部
企画グループ、推進グループ、環境マネジメントグループで構成されます。

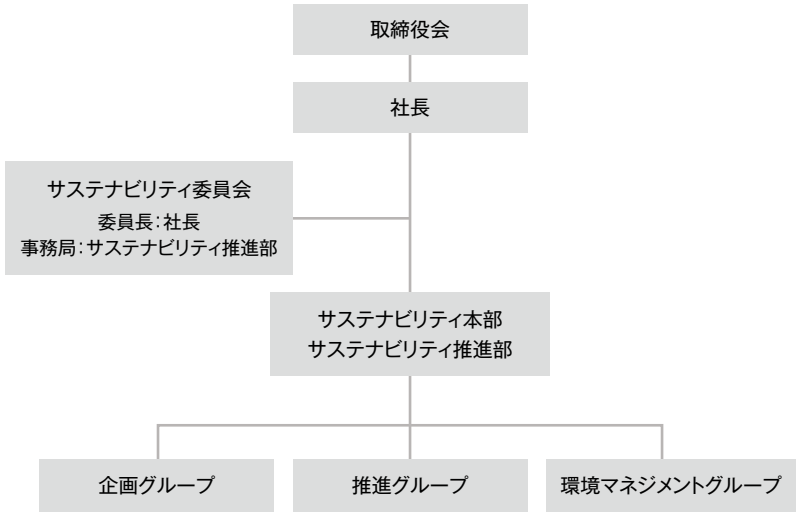
企画グループ	：ESG中期経営計画の企画・立案、サステナビリティ委員会の運営、サステナビリティに関する社内外への情報発信、コーポレートブランド戦略の推進、企業文化・組織風土改善施策の立案、実施および推進
推進グループ	：各事業所におけるサステナビリティ活動の支援、工場見学・育児相談・食育などの推進
環境マネジメントグループ	：全社的な環境対策の企画・推進、環境に関わる戦略全般の立案、ISO14001環境マネジメントシステムの運用・管理

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
方針・考え方
体制
ステークホルダーとコミュニケーション
外部イニシアティブ・団体への参加
社外からの評価・表彰
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス

方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

サステナビリティ推進体制



WEB コーポレート・ガバナンス報告書
▶ https://www.morinagamilk.co.jp/ir/management/governance.html

ステークホルダーとコミュニケーション

コミュニケーションの方法

森永乳業は各ステークホルダーについて、以下の方法を使用してコミュニケーションを行っています。
2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からコミュニケーションの方法を変更した活動もありました。

REPORT ▶「新型コロナウイルス感染症への対応と影響」P.10参照

ステークホルダー	コミュニケーション方法と実績
お客さま	①お客さま相談室 相談件数：約6万5千件 ②顧客満足度アンケート調査 ③エンゼル110番 相談件数：9,941件 ④キッザニア、森と食の探検隊などの次世代支援活動
株主・投資家	①株主総会（2021年6月） 議決権行使数：422,198個 ②個人投資家説明会：0回※ ※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 決算説明会：4回 スモールミーティング：2回 ③機関投資家・アナリスト面談：393件 ④機関投資家・アナリスト向け事業説明会：1回
取引先	①サプライヤー監査：16件 ②CSR調達アンケート：3年に1回実施（2019年実施。次回は2022年） ③品質向上セミナー・物流勉強会 ④調達先説明会 ③④とも2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
従業員	①活き活きサーベイ（従業員満足度調査） 2020年11月実施 ②キャリア調査 2020年12月実施 ③夢共創フォーラムを通じての対話 2020年11月実施 166名参加 ④社内報発行：年4回
地域社会	①工場見学 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため受け入れ中止 ②環境保全活動や催事への参加 ③災害時の物資供給 ④フードバンク、こども食堂への商品提供

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
方針・考え方
体制
ステークホルダーとコミュニケーション
外部イニシアティブ・団体への参加
社外からの評価・表彰
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

外部イニシアティブ・団体への参加

森永乳業はサステナブルな社会の実現のため、さまざまなステークホルダーと対話・協働しています。
グローバルおよび日本国内での活動において、サステナブルな経営を実践するため下記団体の理念に賛同を表明もしくはメンバーとして参加しています。

団体名	参加時期・活動内容
国連グローバル・コンパクト WE SUPPORT UN GLOBAL COMPACT	2018年4月署名 人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、腐敗の防止の4分野10原則に取り組む この理念に賛同して参加し、自社の経営にも生かしています（トップメッセージ　https://www.morinagamilk.co.jp/csr/topmessage/）
持続可能なパーム油のための円卓会議（RSPO：Roundtable on Sustainable Palm Oil） CERTIFIED SUSTAINABLE PALM OIL RSPO 私たちの進捗状況をwww.rspo.orgでチェックしてください 4-1016-18-100-00	2018年3月加盟 世界的に信頼される認証基準の策定とステークホルダーの参加を通じて、持続可能なパーム油の生産と利用を促進する
持続可能なパーム油ネットワーク（JaSPON） JaSPON Japan Sustainable Palm Oil Network	2019年4月加盟 パーム油生産における環境面などさまざまな問題を解決するために、日本市場における持続可能なパーム油の調達と消費を推進する
一般社団法人日本乳業協会	2000年3月加盟 牛乳・乳製品についての衛生および品質の向上や、生産技術の改善、知識の普及、消費拡大 ※前身の社団法人日本乳製品協会、社団法人全国牛乳協会、日本乳業協議会より参加
全国牛乳容器環境協議会	1992年8月加盟 牛乳パックなど紙パックのリサイクルを促進する
コンシューマー・グッズ・フォーラム（CGF）	2006年1月加盟 国際的な消費財業界団体。非競争分野における4分野（サステナビリティー、製品安全、ヘルス＆ウェルネス、E2EVC）を通じて協働して社会的・環境的課題に取り組む ※前身のCIES（国際チェーンストア協会）より加盟
あふの環	2021年1月加盟 「持続的な生産消費」に向けた取組を進める企業や団体の合同プロジェクト
TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures：気候関連財務情報開示タスクフォース）	2021年3月賛同表明 気候変動によるリスク及び機会が経営に与える財務的影響を評価し、ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標について開示することを推奨する提言。この提言に賛同を表明しTCFDコンソーシアムにも加盟しています
国際酪農連盟日本国内委員会（JIDF） ※2021年4月よりJミルク国際委員会に統合	1956年加盟 日本の酪農及び乳業関係者の代表機関としてIDFに加盟し、国際酪農乳業界の科学・技術・経済等の諸問題の解決を国際協力のもとに推進。国際的に関係機関と密接な連絡を図り、日本の酪農及び乳業の振興に寄与する。 ※前身の日本国際酪農連盟より参加
CLOMA（クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス）	2019年加盟 海洋プラスチックごみ問題の解決に向け、業種を超えた幅広い関係者の連携を強めイノベーションを加速するためのプラットフォーム

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
方針・考え方
体制
ステークホルダーとコミュニケーション
外部イニシアティブ・団体への参加
社外からの評価・表彰
7つの重要取組課題
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

社外からの評価・表彰

森永乳業は、持続可能な社会の実現に向けた活動を推進している企業グループとして、さまざまな外部機関より高く評価されています。また、商品の品質や研究活動、社会活動について、さまざまな外部機関より表彰をいただいています。(( ) 内は受賞年月)

評価・表彰	内容
格付け評価	・日本政策投資銀行「DBJ 健康経営格付」最高ランク取得(2015年12月) ・日本政策投資銀行「DBJ BCM格付」取得(2018年3月) ・日本政策投資銀行「DBJ環境格付」最高ランク取得(2019年3月) ・「SOMPOサステナビリティインデックス」3年連続構成銘柄選定(2018年、2019年、2020年(各年6月)) ・(株)格付投資情報センター(R&I)発行体格付等 A-(2020年9月)
表彰(商品)	・「クラフト 無垢 大人の熟成チェダー味」と「クラフト 無垢 大人の熟成ゴーダ味」が、iTQi(国際味覚審査機構)のコンテストで「優秀味覚賞"三ツ星"」と「優秀味覚賞"二ツ星"」を3年連続受賞(2017年、2018年、2019年(各年6月)) ・「濃密ギリシャヨーグルト パルテノ プレーン砂糖不使用/プレーン加糖」が、iTQi(国際味覚審査機構)で「優秀味覚賞"二ツ星"」を受賞(2018年6月) ・「森永ジュレ」シリーズが「2019年マザーズセレクション大賞」を受賞(2019年11月) ・「トリプルヨーグルト」が日本食糧新聞社第38回食品ヒット大賞「優秀ヒット賞」受賞(2019年12月) ・「MOW(モウ)」シリーズが、iTQi(国際味覚審査機構)で「優秀味覚賞"三ツ星"」を受賞(2020年9月)
表彰(研究活動)	・「アロエステロール」の研究開発の成果である、「アロエベラ由来植物ステロールの新規保健機能研究と機能性食品への応用」が、「日本栄養・食糧学会」で「平成30年度技術賞」を受賞(2018年4月) ・森永乳業の「ビフィズス菌M-16V」がシンガポールの"Nutra Ingredients - Asia Awards"で"Infant Nutrition Ingredient of the Year"(乳幼児栄養賞)を受賞(2019年9月) ・森永乳業の「ビフィズス菌BB536」研究が2019年度 日本食品免疫学会「食品免疫産業賞」を受賞(2019年10月) ・ペプチド研究において日本生物工学会 2020年度学会賞(生物工学論文賞)受賞(2020年9月)
表彰(社会活動)	・「健康経営優良法人」大規模法人部門認定(2020年、2021年(各年3月)) ・一般社団法人日本有機資源協会主催「第5回食品産業もったいない大賞」で「審査委員会委員長賞」を受賞(2018年2月) ・「森永リトルエンゼル育成 森と食の探検隊」が、文部科学省主催「青少年の体験活動推進企業表彰」で「審査委員会奨励賞」を受賞(2018年4月) ・「アニュアルレポート」が「International ARC Awards」で4年連続受賞(2016年、2017年、2018年、2019年(各年10月)) ・2020年のLGBTQに関する企業取り組みに対する評価指標「PRIDE指標2020」にて最高評価「ゴールド」を獲得(2020年) ・園児の知育学習雑誌「幼稚園」の付録となった「ピノガチャ」にて「2020日本パッケージングコンテスト 包装アイデア賞」を受賞(2020年)

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

7つの重要取組課題

経営理念と重要取組課題

コーポレートスローガン　かがやく“笑顔”のために

経営理念　乳で培った技術を活かし
私たちならではの商品をお届けすることで
健康で幸せな生活に貢献し豊かな社会をつくる

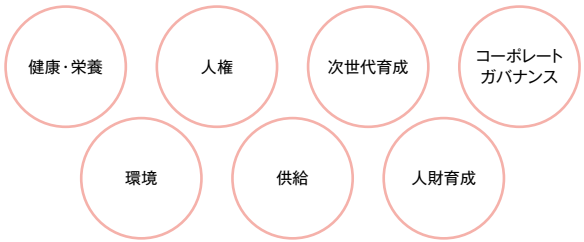
森永乳業グループ10年ビジョン

Vision 1 「食のおいしさ・楽しさ」と「健康・栄養」を両立した企業へ
Vision 2 世界で独自の存在感を発揮できるグローバル企業へ
Vision 3 サステナブルな社会の実現に貢献し続ける企業へ

2020年3月期～2022年3月期 中期経営計画

基本方針Ⅰ	基本方針Ⅱ	基本方針Ⅲ
4本の事業の柱横断取り組み強化による持続的成長	経営理念実現に向けたESGを重視した経営の実践	企業活動の根幹を支える経営基盤の更なる強化

7つの重要取組課題に対応したKPI



REPORT ▶詳細はP.21「取り組み目標の設定」参照

森永乳業は、2017年4月、100周年を機に経営理念のもと「かがやく“笑顔”のために」というコーポレートスローガンを掲げました。
そして、2018年に多くの従業員が参加し、私たちの大きな目標である「かがやく“笑顔”あふれる豊かな社会の実現」を目指すために特に優先的に取り組むべき7つの重要取組課題を選定しました。
さらに2019年5月には「森永乳業グループ10年ビジョン」とともに、2020年3月期から2022年3月期までの3年間を対象とする中期経営計画を公表しました。この中期経営計画において示した基本方針Ⅱ「経営理念実現に向けたESGを重視した経営の実践」を進める上で、あらかじめ定めた7つの重要取組課題の取り組み状況を管理するKPIを設定し、取り組んでいます。

WEB 新中期経営計画策定に関するお知らせ
▶https://www.morinagamilk.co.jp/release/newsentry-3135.html

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

7つの重要取組課題

「かがやく“笑顔”のために」
このコーポレートスローガンに基づき、森永乳業は7つの重要取組課題を策定しました。次の100年に向けて、サステナブル（持続可能）な社会をつくるため、そして人々の健康に貢献する企業でありつづけるための指針となります。

●健康・栄養



「かがやく“笑顔”」を実現する機能性とおいしさを兼ね備えた商品を開発・販売し、健康・栄養をお届けします。

- 「栄養価の高い商品」「嗜好性の高い商品」に対する社会のニーズは高く、また、中長期的には高齢社会が加速することは避けられません。森永乳業独自の研究開発力で、心身ともに健康な社会生活の実現に貢献することをめざします。
- 人口減少・高齢化が進む中、商品力だけでなくライフスタイルを変革する技術やサービスの創造・提供をめざします。

●環境



省エネルギー、廃棄物削減に取り組みながら安全・安心な商品を製造し、サステナブルな社会づくりに貢献します。

- 「気候変動」「森林」などに与える影響を考慮した企業活動を実践します。
- 限りある資源を有効に活用するためにも、食品ロスの削減に取り組むことを急務とします。

●人権



人権に配慮した事業活動を行い、多様性を尊重し、あらゆる人々が能力を充分に発揮できる環境をつくります。

- 持続可能な社会形成のために、「人」は特に重要な経営資源だと考えています。すべての人の「かがやく“笑顔”」を実現するために、ダイバーシティ（多様性）＆インクルージョン推進をはじめ、さまざまな人権課題を社外関係者とともに協力して取り組んでいきます。

●供給



安全・安心を重視した原材料調達と製造を経て、高品質な商品を安定的にお届けします。

- 将来的な乳原料の不足に備え、新たな乳原料を使いこなせるよう研究所や工場などと協働しながら、配合設計の研究を重ねています。
- 安全は、当社の中でも最も重要な取組項目です。現在も行っている安全への取り組みを、引き続き実施していきます。

●次世代育成



サステナブルな社会づくりに貢献する子どもたちの健やかな成長を応援します。

- 子どもたちの明るい未来のために、森永乳業は心身の成長やキャリア教育、そして子育てを支援する活動を行っています。

●人財育成



「かがやく“笑顔”」を実現する人財の育成に力を入れていきます。

- 新入社員から経営層まで幅広く人財を育成することは、企業の持続的な成長につながります。一人ひとりの適性を活かし、能力をのばすことのできる制度構築をめざします。

●コーポレート・ガバナンス



持続的な成長と企業価値の向上の実現に向けて、実効性の高いガバナンス体制の整備および充実に継続的に取り組みます。

- ステークホルダーとの対話、積極的な情報開示を通して、適切なコミュニケーションをはかっていきます。
- 経営層からの継続的なメッセージとともに、ルールの整備、従業員の意識の醸成、サプライヤーとの公正な取引など、内部統制の構築に取り組んでいます。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

重要取組課題の策定

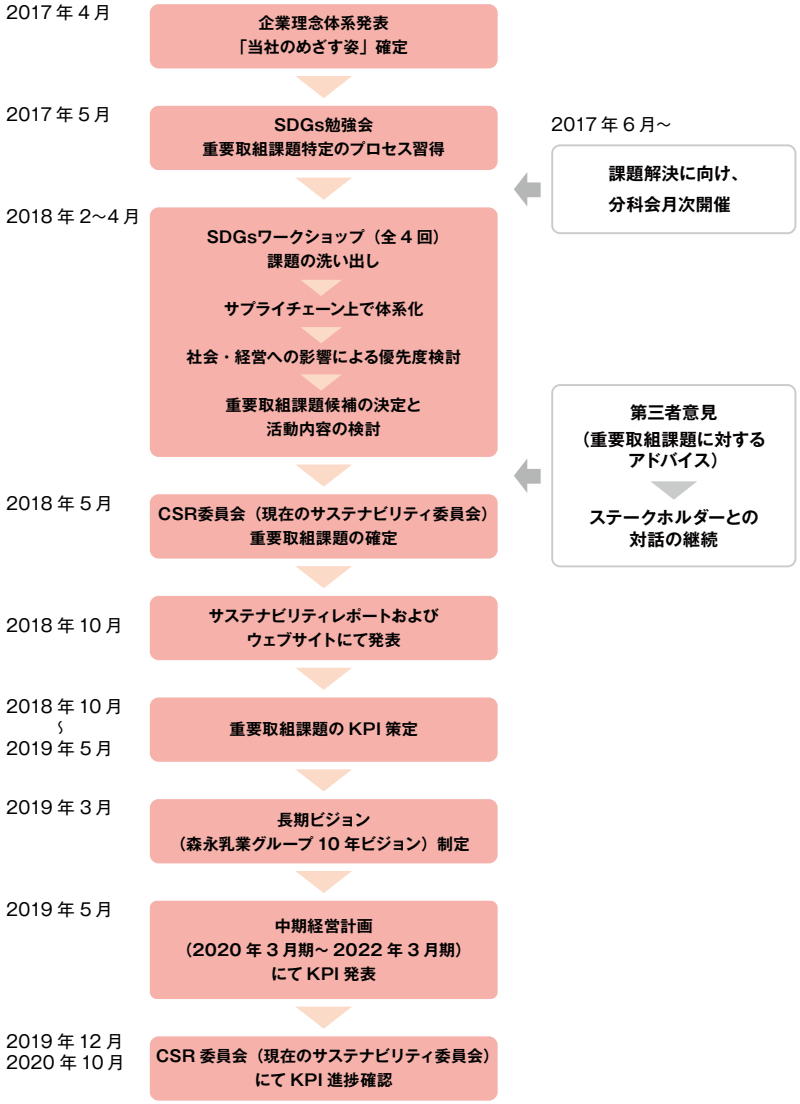
「かがやく“笑顔”」をめざして求められる7つの課題を策定

森永乳業は、2017年4月、新コーポレートスローガンを含むグループ理念体系を策定し、発表しました。
2018年、次のステップとして行ったのが、重要取組課題の策定です。
重要取組課題は、私たちの大きな目標である「かがやく“笑顔”あふれる豊かな社会の実現」を目指すために特に優先的に取り組むべき項目です。
策定にあたっては、計4回にわたるワークショップを開催。さまざまな部署から約30名の従業員が参加し、取り組むべき課題を抽出しました。そして協議を重ねて7つの大きな課題を策定し、CSR委員会（現在のサステナビリティ委員会）で承認されました。

持続可能な社会への貢献をめざして

策定にあたっては、行動指針はもちろんのこと、GRIガイドライン、ISO26000、国連が提唱するSDGsコンパスなどを参考にしました。策定した重要取組課題への取り組みを通じ、森永乳業が企業市民として持続可能な社会の実現に貢献できると、私たちは考えています。

重要取組課題策定の流れと進捗



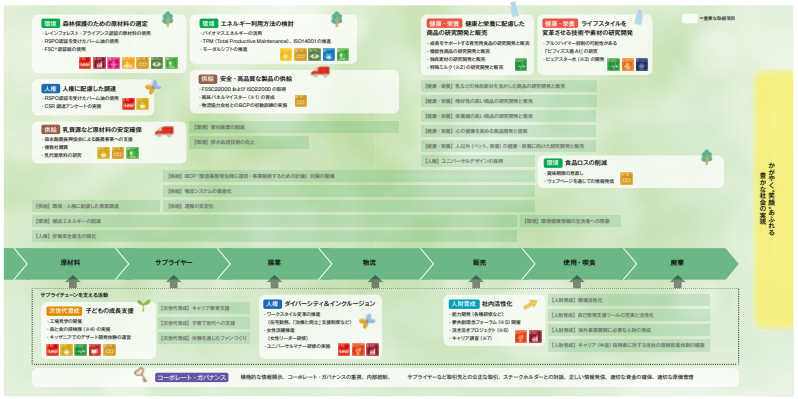
〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

サプライチェーンでの課題抽出

原材料の調達から製造、販売、廃棄に至るまで、森永乳業の活動は多岐にわたります。7つの重要取組課題を策定した際、サプライチェーン全体で課題解決のために当社が行う具体的な取り組みを決め、その中で特に重要だと思われる項目を特定しました。
各部署・部門が連携し、それぞれの課題に取り組んでいます。

サプライチェーンにおける重要取組課題と具体的な取り組み



WEB → 詳細はサステナビリティサイトへ
▶ https://www.morinagamilk.co.jp/csr/materiality/

持続可能な開発目標（SDGs）

SDGs（Sustainable Development Goals）は、国連が定めた持続的な開発に関する17の目標と169のターゲット。2015年に採択され、2030年までに達成することを目指しています。「誰一人として取り残さない（Leave no one behind）」を基本とし、経済格差、持続可能な消費や生産、気候変動対策など、世界が抱える問題を解決するために、各国政府やNGOだけでなく、民間企業もまた日々の活動を通して、取り組んでいくことが求められています。森永乳業は、このSDGsの達成に寄与することを目指しています。



〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

取り組み目標の設定

2019年度から新しい3ヵ年の中期経営計画がはじまりました。中期経営計画では、新たな基本方針の中に「経営理念実現に向けてESGを重視する経営の実践」を盛り込みました。この基本方針のもと、7つの重要取組課題の考えを示すとともに、それぞれの課題に対する取り組み目標（KPI※）を設定しました。

※KPI（Key Performance Indicator）
活動の進捗状況や達成度を客観的に評価・管理するための数値指標。

健康・栄養



基本的な考え方

「かがやく“笑顔”」を実現する機能性とおいしさを兼ね備えた商品を開発・販売し、健康・栄養をお届けします。

活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
健康寿命延伸に対する貢献	栄養機能性素材を取り入れた商品の市場投入	・「ビヒダス ヨーグルト　便通改善」等の機能性表示食品、健康・栄養をサポートする商品を複数発売（▶P.28） ・次世代ヘルスケア事業のさらなる推進
	健康維持に寄与する栄養機能性素材についての情報発信	「健幸サポート栄養士」による、健康セミナービジネスの本格化 ・「ビフィズス菌トレプロジェクト」ビフィズス菌等に関する健康情報発信による生活者の健康意識向上と行動変容を促進（▶P.29） 「シンポジウムや展示会など」健康寿命延伸に関する研究情報、論文のリリース　計15件（▶P.30） レシピの発信等　55件
乳幼児の健やかな成長への貢献	ビフィズス菌（M-16V）の提供。国内外で120以上の施設での提供継続	・「ビフィズス菌M-16V」のNICU（新生児集中治療室）などへの提供。国内外で150以上の施設での提供継続（▶P.32）

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

環境

基本的な考え方

省エネルギー、廃棄物削減に取り組みながら安全・安心な商品を製造し、サステナブルな社会づくりに貢献します。

活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
生産部門を中心としていた環境活動を、連結対象会社全部門に拡大	**ISO14001認証事業所：** 2030年度までに連結対象の全事業所で取得	・認証事業所数：34事業所（2021年3月31日時点）※（▶P.39） ・2020年度：1事業所認証取得（商品センター）
	2021年度までにグループ全体でスコープ1、スコープ2を把握	国内生産事業所のスコープ1、スコープ2について第三者保証を取得（▶P.43）
生産における環境負荷削減	**CO_2排出量原単位削減：** 2021年度までに2013年度比8%削減 2030年度までに2013年度比20%削減 2050年度までに2013年度比80%削減	・2013年度比14.1%減（▶P.42）
	食品廃棄物発生量原単位削減： 2021年度までに2013年度比30%削減	2020年度は2013年度比27.1%削減（▶P.46）
	産業廃棄物排出量原単位削減： 2021年度までに2013年度比33%削減	2020年度は2013年度比30.0%削減（▶P.46）
	埋立廃棄物量削減： 2021年度までに年間排出量300t未満 2030年度までにゼロ	2020年度は年間排出量354t（▶P.46）
	用水使用量削減： 2021年度までに年間使用量2013年度比9%削減	2020年度は2013年度比6.2%削減（▶P.48）
サプライチェーン全体の環境負荷削減	2021年度までにスコープ3の15中6カテゴリ算定	10カテゴリ算定済み。残り5カテゴリについても検討を行い、スコープ1および2に含めるもの1カテゴリ、本業との関連が低いもの4カテゴリに分類済み（▶P.43）
環境に配慮した容器包装の使用促進	**容器包装リサイクル法対象プラスチック容器包装の重量：** 2013年度比10%減	2013年度比15.4%減（▶P.50）

※東洋醗酵乳株式会社（2020年5月解散）は、認証サイト合計数から削減しています。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

人権

基本的な考え方

人権に配慮した事業活動を行い、多様性を尊重し、あらゆる人々が能力を充分に発揮できる環境をつくります。

活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
ステークホルダーとの対話による人権課題の特定と対策	ステークホルダーとの対話実施	経済人コー円卓会議日本委員会が運営する「ステークホルダー・エンゲージメントプログラム」に2020年度は2名参加（▶P.52）
サプライヤーによる人権侵害事案の把握	CSR調達アンケートによる実態把握	2019CSR調達アンケートを実施（2019年5月実施）（▶P.54） （3年毎実施の為、次回実施は2022年）
自社経営に影響を及ぼす原材料ならびに納入先の特定	重要サプライヤーのリスト化	重要なサプライチェーンでの確認・調査スキームの検討開始（▶P.54）
当社グループ（協力会社含む）の外国人従業員への対応	当社グループの外国人従業員の労働環境整備	国内子会社向け業務監査チェック項目に「外国人従業員に対する適正な雇用管理」に関する項目を新たに追加（▶P.55）
ダイバーシティ＆インクルージョンの推進	【2027年度目標】 在宅・サテライト勤務者数、有給休暇取得率、女性採用比率、女性管理職数、配偶者出産休暇取得率、男性育児休業取得率、介護離職者数	2020年度実績（▶P.55） （1）在宅、サテライト勤務実施者数　1,980名 （2）年次有給休暇取得率　70.2% （3）新卒時女性採用比率（事務営業職・研究開発職計）　41% （4）女性管理職数　47名 （5）配偶者出産休暇取得率　84.7% （6）男性育児休業取得率　44.1% （7）介護離職者数　1名

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

供給

基本的な考え方

安全・安心を重視した原材料調達と製造を経て、高品質な商品を安定的にお届けします。

活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
原料リスクに応じた効率的なサプライヤーマネジメント	原料リスク等によりサプライヤーの管理レベルを評価する仕組みの強化	クラスに応じたサプライヤー監査を2020年度は16工場で実施（▶P.64）
安全かつ高品質な商品提供のための体制づくり	FSSC22000を2020年度中に当社グループ全29工場※で取得	・認証工場数：24工場（国内）（2021年3月31日時点）（▶P.67） ・認証取得への取り組みを加速し、計画を上回って着地
主要原材料の供給リスク対応	主要原材料の複数社購買、地域分散購買	地域分散購買の取り組み推進中（▶P.68）
	RSPO認証パーム油の使用拡大	ブック＆クレームへ100%切り替え達成済（2021年3月31日時点） マスバランスへの切り替えに取り組み中（▶P.69）

※生産中止等の関係から、2020年10月、対象工場数を23に変更しました（変更前：29）。

次世代育成

基本的な考え方

サステナブルな社会づくりに貢献する子どもたちの健やかな成長を応援します。

活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
健康で豊かな生活の基礎力を獲得するための食文化や栄養を学ぶ場の提供（食育講座、キッザニア）	2019年から3年間の延べ参加者数30万人	コロナ禍においてオンライン型イベントをトライアルも含めて実施し、次世代育成の機会を継続して創出（▶P.77）
自然の恵みと、それを活かす技術・研究を学ぶ場の提供（工場見学、森と食の探検隊、キャリア教育）		
次世代を育成する環境の整備	エンゼル110番での継続的な育児相談の実施。2020年度で延べ100万人の相談を受け付け	相談受付延べ人数約99万人（2021年3月31日時点）（▶P.79） ・2020年度：エンゼル110番社内向けオンライン型イベントを新たに実施

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

人財育成

基本的な考え方

「かがやく“笑顔”」を実現する人財の育成に力を入れていきます。

活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
経営理念の浸透	従業員公募型フォーラムの毎年開催	2020年度参加者数166名（▶P.84）
ダイバーシティ＆インクルージョン推進による、従業員一人ひとりの自律的な成長促進	女性リーダー研修、仕事と子育ての両立を促す研修、プレマネジメント研修の継続的な実施と、若手従業員の人財部による面談実施	オンライン型で研修・面談等を継続して実施（▶P.85）
グローバルなビジネス環境で活躍できる人財の育成	グローバル人財育成プログラムの推進	・延べ参加者数148人（2021年3月31日時点） ・2020年度52人参加（▶P.86）
健康経営の実践を通した人財の育成	健康診断の「危険値に該当する者」の2次検診・再検査受診率の向上：80%（2023年） メンタルヘルス教育の受講率：100%（2023年）	メンタルヘルス教育の受講率：94.3%（▶P.88）

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

持続的な成長と企業価値の向上の実現に向けて、実効性の高いガバナンス体制の整備および充実に継続的に取り組みます。

活動の方向性	KPI	KPIの進捗状況
取締役会における、多様な価値観に基づいた、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定	取締役会評価における評価点およびコメントの内容（取締役会の多様性、審議内容）	独立社外取締役の取締役総数割合1/3（社内6名：社外3名） （うち、女性（社外）1名）
マネジメント体制の強化	各種定例委員会（人事報酬委員会、内部統制委員会、サステナビリティ委員会）の充実	・人事報酬委員会： 役員報酬を改定。固定報酬：業績連動報酬＝2：1から1：1に変更、業績連動報酬の評価指標にROEを追加 ・内部統制委員会： 腐敗行為の防止に取り組むため「腐敗防止方針」を策定 ・サステナビリティ委員会： CSR委員会をサステナビリティ委員会に変更、発展

※CSR委員会は2021年6月、サステナビリティ委員会に改称しました。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方
編集方針
会社情報
コーポレートミッション
新型コロナウイルス感染症への対応と影響
森永乳業のサステナビリティ
7つの重要取組課題
経営理念と重要取組課題
7つの重要取組課題
重要取組課題の策定
取り組み目標の設定
今後の課題解決に向けて
● 健康・栄養
● 環境
● 人権
● 供給
● 次世代育成
● 人財育成
● コーポレート・ガバナンス
方針等
第三者保証
国連グローバル・コンパクト対照表
GRIスタンダード対照表

今後の課題解決に向けて

森永乳業は2018年度に「重要取組課題」を策定し、2019年度に各重要取組課題のKPIを設定しました。2019年度よりKPI達成のため、重要取組課題毎に進捗報告会を設け、「KPI推進リーダー」を中心として進捗管理を実施しました。また、KPIは世界的な潮流、ステークホルダーとの対話を通じて、適宜議論の俎上に載せ、検討していきます。

2022年より新たな新中期経営計画が始まります。サステナブルな社会実現のために脱炭素社会への貢献、プラスチック問題への対応、サプライチェーン上での人権尊重、などさまざまな社会問題に対して取り組みを進めていきます。